

2017年2月23日
VLED第3回利活用・普及委員会【情報提供】

岡山県における広域連携 オープンデータ推進の取り組み



data **CRADLE**

一般社団法人 データ クレイドル

1. 団体概要

団体名	一般社団法人データクレイドル
代表者職・氏名	代表理事 新免國夫
所在地	倉敷市阿知1丁目7-2 ぐらしきシティプラザ西ビル7階 706
設立	平成27年10月1日
事業概要	オープンデータ、ビッグデータなどのデータと、人工知能を含む情報技術の活用を通じて、地域社会の過去と現状を把握し未来を予測することにより、地域の行政、教育、産業、安全、環境、都市機能等の効率や品質を高め、新たな社会的価値を創造することを目的に、データサイエンティスト育成、データ活用サービス提供など、公益性のある事業を行っています。

2. 広域連携のエリアと体制



岡山県高梁川流域圏（7市3町）

※7市3町

倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、
新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町

高梁川流域オープンデータミーティング

data CRADLE

一般社団法人 データ クレイドル



Code for Kurashiki



岡山大学

OKAYAMA UNIVERSITY

高梁川流域圏

自治体・企業・住民・学生



岡山県立大学

OKAYAMA PREFECTURAL UNIVERSITY



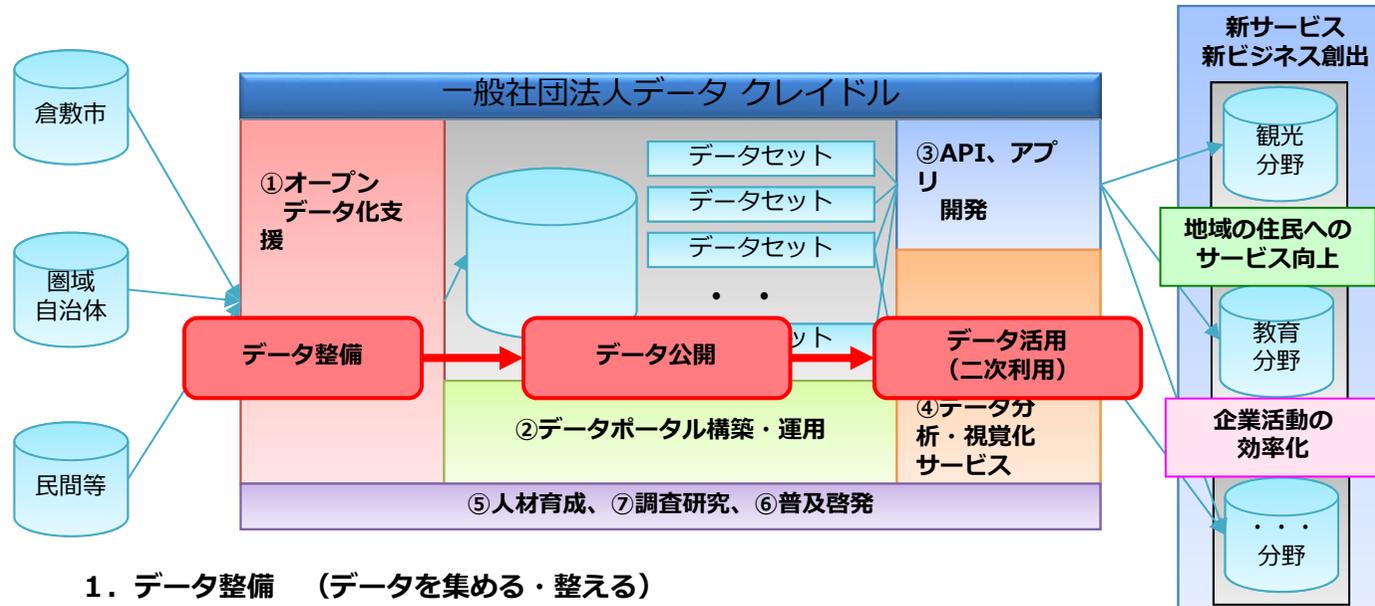
50th

ANNIVERSARY

岡山理科大学

OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

3. オープンデータ推進→活用の流れ



1. データ整備 (データを集める・整える)

①二次利用できるように収集、匿名化、標準化、整形するオープンデータ化支援

2. データ公開 (データを蓄える・公開する)

②オープンデータを蓄積し公開する「データポータル」構築・運用

3. データ活用 (データを二次利用する)

③データを活用できるインターフェイス (API : Application Programming Interface) やアプリ等の開発・販売

④データ分析およびグラフ化、マップ化などのビジュアル化

⑤データ利活用セミナー等の人材育成

⑥データ活用実証、人工知能等の調査研究

⑦データ分析サロン (体験、相談) 運営、共創型イベント (アイデアソン、ハッカソン) 等の普及啓発

(1) データ整備

オープンデータ化 支援体制

データプランナー、データエンジニア、テレワーカーによるプロジェクトチームが、専門性を活かしてオープンデータ化を支援します。

子育てや介護のために離職した女性等が、Eラーニングやオフライン勉強会でデータ活用スキルの習得を図り、顔が見える地域のテレワーカーとして育てています。

オープンデータ化 環境

自治体等が簡単にデータ登録～加工依頼でき、社内スタッフとテレワーカーが安全にデータ受け渡しや業務管理が行える環境を整備しています。

オープンデータ化 標準

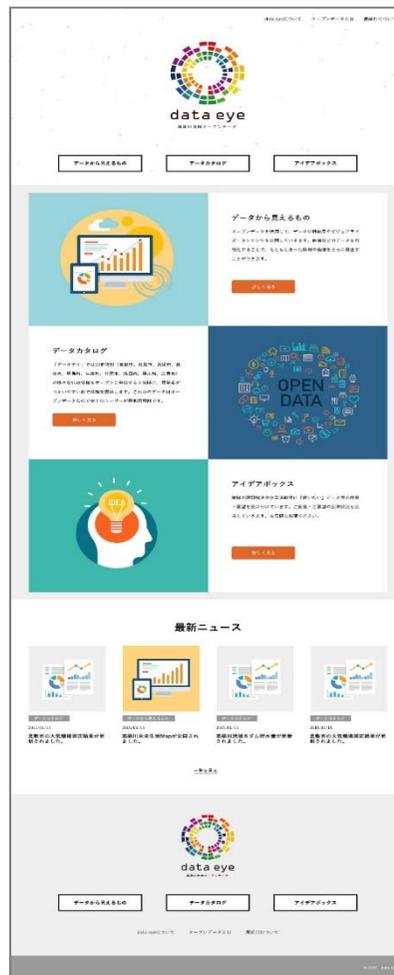
国の方針、VLEDオープンデータガイド、先行自治体事例を参考にし、地域の実情に応じたオープンデータ様式を作成しています。

(2) データ公開



高梁川流域圏データポータル
dataeye.jp

「目」をモチーフに
オープンデータ、ビックデータからの新たな「発見」、「興味」、
「気づき」を表現し、円の中心から放射状に広がるカラフルな色
で多種多様なデータと今後の可能性を表現しています。



データから見えるもの

オープンデータを分析した結果を図やグラフなどを活用して、わかりやすくお伝えしています。地域の現状や課題の「見える」化を目指します。

データカタログ

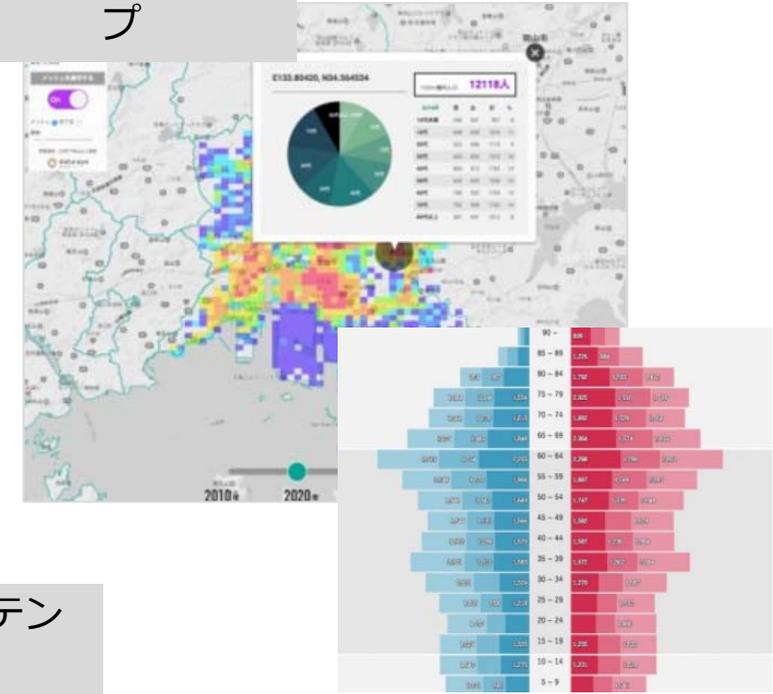
オープンデータを検索・ダウンロードできる「カタログ」サービスです。
7市3町のデータ様式を統一し、
★3（CSV）以上で提供しています。

アイデアボックス

課題解決や企業活動等のために公開してほしいデータ、または公開したデータを活用するアイデアなど、意見・要望を受付けています。

7市3町のデータ分析、可視化

みらい人口マップ



学生チャレンジコンテンツ (学びの成果)

高梁川流域圏の人口の推移 (2010年~2040年) を可視化しました。みらい人口マップでは、任意の地点をクリックすると、選択した圏内の人口 (性別、年代別) の推移が確認できます。

(3) データ活用

人が育つと
データも育つ

地域で活躍するデータサイエンティストの育成



データ分析サロン



セミナーやワークショップ開催



IoTデータとの組み合わせ

観光地にカメラを設置して混雑の様子をデータ化し、オープンデータと組み合わせ分析します。

AIアプリ開発

人工知能が観光地をおすすめるアプリを開発中。観光スポットやイベントなどのオープンデータを活用しています。

データ分析サロン

人が育つと
データも育つ

データ活用テストベットとアイデア創発の場として、データ分析・可視化を体験できるデータ分析サロンを設置しています。

サロンでは、随時、勉強会やワークショップ、OJT研修を行っています。

また、統計検定対策テキストの貸出、対策講座実施など、統計検定の取得支援を行っています。



データ分析サロン

場 所：倉敷市阿知1丁目7-2
くらしきシティプラザ西ビル706
(JR倉敷駅前)
利用時間：平日10時～17時

統計解析ソフトウェア「R」や、Tableau、E2D3などの視覚化ツール、GISなどデータ活用ツールを利用できるオープンスペース「データ分析サロン」を設けております。会員登録のうえ、ぜひご利用ください。

■提供サービス

データ活用ツールの体験利用、関連書籍、刊行物等の閲覧
先進事例等の紹介
アイデアソン、ハッカソン等のイベントやセミナー

■設備

パソコン（インターネット）、プリンタ、プロジェクタ
会議／作業スペース（10名程度）

■データ活用ツール

データポータルサイト（data eye）
R（統計解析ソフトウェア）
ArcGIS、QGIS（地理情報システム）
Tableau、E2D3（データ視覚化ツール）
IBM Bluemix（アプリケーション開発・実行PaaS）等

